

死刑について考えてみませんか

街を行くみなさん。

この近くに東京拘置所があるのをご存知ですね。東京拘置所には、裁判中の被告の他、死刑判決を受けて、刑が確定した人たちが二十人以上もいます。

死刑の是非をめぐるには多くの議論があります。先日、衆議院法務委員会でも集中審議がなされ、さまざまな視点から死刑制度への疑問が出されましたが、法務大臣は「日本の世論の多数は死刑を求めている」と執行を続けていく構えを変えませんでした。



人を殺したんだから死刑になってもしかたないんじゃないかな。



でも、殺人を犯したからといって死刑になるわけではないのよ。殺人罪でも死刑になるのはごく少数の人だけなんですって。



そうだな。人を殺すっていうのはたいへんなことだからいろんな事情もあるだろう。しかし、だからといって許せることではない。逆に、死刑になるような人は、とても許すことができないような悪いことをしたってことにほかならないんじゃないかな。



死刑にしないと「許した」ことになるのかしら？ 私は刑務所の中で反省してもらい、懲役の仕事で得たお金を、被害者の補償に使ってもらうのがいいと思うわ。



懲役囚に支払われる作業報奨金というのはあまりに微々たる額だよ。とても「補償」にはならないね。



金額が少ないというのはまた別の問題じゃないの。気持ちの問題よ。



仮釈放のない終身刑があれば必ずしも死刑でなくでもいい、という声もよく耳にするね。でも、「終身刑のほうが死刑より残酷だ」と考える人も多いよ。



あなた自身はどう思うのよ？

死刑について、あなたはどのように思いますか。このチラシの裏面をアンケート用紙にしました。みなさんの意見を聞かせてください。

<p>ビデオを見ながら 死刑について考える集い PART 2 7月18日(土) pm6:00~ 綾瀬プルミエ・和室 (足立区勤労福祉会館・綾瀬駅西口そば)</p>	
--	--